

(基本情報)

会議名称	第2回 立川市地域福祉計画推進委員会 第6次地域福祉市民活動計画推進委員会
開催日時	令和7年11月26日（水曜日）午後7時00分～9時00分
開催場所	立川市総合福祉センター（2階 視聴覚室）
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 委員長あいさつ 2. 委員自己紹介 3. 重点推進事項についてのグループワーク <ol style="list-style-type: none"> (1) 地域福祉アンテナショップ (2) 多様なはたらき（仮） (3) 企業との連携 4. 継続検討テーマの説明 <ol style="list-style-type: none"> (1) 次回日程確認 (2) その他 5. 総括 6. その他 <ol style="list-style-type: none"> (1) 次回日程確認 (2) その他
配布資料	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第1回委員会議事概要 2. 重点推進事項のワークシート 3. 「地域福祉アンテナショップ」について 4. 「多様なはたらき（仮）」について 5. 「企業との連携」について 6. 委員会スケジュール 7. 委員名簿
出席者	<p>[委員]</p> <p>熊田博喜（委員長）、中村喜美子（副委員長）、伊野滉司、佐伯大太、佐藤節子、島田美喜、菅根浩子、須崎健史、高木理緒、寺田良太、長井琢英、藤原紀子、宮本直樹、向山時恵、吉川春樹</p> <p>[事務局]</p> <p><立川市></p> <p>西上大助（地域福祉課長）、倉田雄一（地域福祉推進係長）、田中真吾（地域包括ケア推進係長）、竹森雅人（地域福祉推進係）</p> <p><立川市社会福祉協議会></p> <p>大平武彦（事務局長）、枝村珠衣（地域活動推進課長）、小山泰明（地域づくり係長）、内金崎快、高橋美季、柴寄日和（地域づくり係）</p>
公開及び非公開	公開
傍聴者数	2人
会議結果	以下の通り
その他	以下の通り

担当	立川市地域福祉課地域福祉推進係 電話 042-523-2111（内線 1492）
----	---

主な意見

【1. 委員長あいさつ】

委員長よりあいさつがあった。

【2. 委員自己紹介】

第1回委員会欠席の委員より自己紹介があった。

【3. 重点推進事項についてのグループワーク】

委員が3つのグループに分かれて、立川市第5次地域福祉計画および第6次地域福祉市民活動計画の5つの重点推進事項についてグループワークをおこなった。主な意見は以下のとおり。

- ・地域福祉アンテナショップの名前の由来や、「アンテナショップ」ということから物産店のイメージがあり分かりづらい。
- ・協働型地域福祉アンテナショップは、自主的な想いからスタートするイメージで、全部型は少し福祉色が強いイメージ。
- ・新たな層の地域住民を巻き込んで地域福祉を発展させていくには、協働型地域福祉アンテナショップの強化が有効ではないか。
- ・地域福祉アンテナショップなど、現在の捉え方をいったん見直すことも大切ではないか。
- ・地域福祉アンテナショップは、商店と同じで入っていただくまでが大変。入っていただくための工夫が必要。
- ・地域福祉アンテナショップの活動として、SNSと実体験をリンクさせるような活動をしたら面白いのではないか。例えば、若者はSNSで動画を見ながら編み物をしたりするが、地域福祉アンテナショップにいけば実体験ができるような取組があれば、得意なことを生かせる活躍の場にもなり面白いのではないか。
- ・地域福祉アンテナショップの認知度の低さは課題。もっと周知していく必要がある。
- ・地域活動の担い手不足の解消は急務だが、責任を伴うと負担が重く感じる人も多い。「お試し」など敷居を下げて活動していただくことも必要。
- ・就労が困難な人でも、今できることから始められるようサポートすることが大切。
- ・これまで担い手と捉えられなかった層を繋げていくことで、新しい担い手の循環を進めていきたい。
- ・多様なはたらき（仮）については、「100人が集まる1つの取組」よりも、「1人が集まる100個の取組」のように、例えば5分でできるような気軽な活動から始めていくのが重要ではないか。
- ・計画書は市内のどこに置いてあり、閲覧できるかわからない。市民の目に触れる機会が少ないのでもうたいない。
- ・自治会や子ども会の役員のなり手がいないため、無くなっている団体がある。何をすればいいのかが、分からない人も多いため、丁寧にレクチャーをすれば、やってくれる人はいると思う。

・担い手となり得る人材を把握しているのは、地域包括支援センターではないかと思う。認知症サポート一養成講座受講者や、ちょこっとボランティア登録者などの情報が行き来するような緩いつながりがあるといいのではないか。

・地域活動をする人が減っている気がする。何かしたい人はいるが、役に付きたくないという人が多い。どうやってそういう人を繋ぐのか課題がある。

〈委員長〉 地域福祉アンテナショップについては、以前の計画や委員会の中で十分に検討をおこない、機能や活動内容、名前等について決定したものだが、市民への周知は足りておらず課題がある。この 5 年間の計画期間の中では、地域福祉アンテナショップの周りからの見え方や、ここで何ができるのか等をどうやって伝えていくのかを検討していきたい。また、就労に限らない「多様なはたらき（仮）」については、その人が今の状態でできることや、どんな状態でもできることをたくさん作ることが重要となる。のことと共に、はたらきによる対価（賃金）を得られる仕組みを検討していく必要がある。

【4. 継続検討テーマの説明】

3つの継続検討テーマの設定理由について、説明をおこなった。主な内容は以下のとおり。

・「多様なはたらき（仮）」は、計画の策定委員会では十分に議論が深められず、本文や重点推進事項、評価のロードマップの中でも概念を記載することに留まっており、計画の策定委員会から、この推進委員会で議論を深めた方が良いと引き継いでいる。

・「地域福祉アンテナショップ」は、前計画から始まり、設置は進んでいるものの、協働型の発展や、地域福祉コーディネーターとの関わり方、運営方法等の方向性が十分に定まっていないため、継続して検討する。

・「企業との連携」は、ほか 2 つのテーマの発展を考えた時に必要不可欠であるという意見が策定委員会の際に提起されていた。これまででも企業とは様々に連携してきたが、どれも点と点のつながりで面としての連携は不十分だったため、課題として明確化した。

（1）「地域福祉アンテナショップ」について

資料 3 に基づき、「地域福祉アンテナショップ」の概要やこれまでの経過について説明をおこない、「持続可能な運営、参画しやすい協働型のあり方、全部型や協働型以外の第 3 の類型の検討」をおこなっていきたい旨、説明した。また、今後の検討事項の案として、「地域福祉アンテナショップの周知」、「協働型の再考」、「運営形態の検討」を例示した。

（2）「多様なはたらき（仮）」について

資料 4 に基づき、「多様なはたらき（仮）」の概要やこれまでの経過について説明をおこない、「従来のボランティアや地域活動だけでなく、様々なバリエーションを増やし、就労支援や地域活動の担い手支援となるような事業の検討」をおこなっていきたい旨、説明した。また、今後の検討事項の案として、「担い手の裾野を広げる取組」、「就労に限らない「はたらき」の仕組みづくり」を例示した。

（3）「企業との連携」について

資料 5 に基づき、「企業との連携」の概要やこれまでの経過について説明をおこない、「企業との連携によ

り「地域福祉アンテナショップの拡充や多様なはたらき（仮）等を推進していき、地域福祉全体の推進につながる取組」をおこなっていきたい旨、説明した。また、今後の検討事項の案として、「企業の多様性の理解」、「企業が利益をあげながら行政とどのようにパートナーシップを結べるか」を例示した。

【5. 総括】

委員長より総括があった。主な内容は以下のとおり。

- ・多様なはたらき（仮）は、実際の事例を研究し、立川市のニーズを把握して検討していかなければならない。
- ・「企業との連携」については、企業がどのような立場にあるか、どのように連携できるか、また企業としては利益をあげていかなくてはならない部分があるので、そういったところを踏まえて整理して検討していく必要がある。
- ・「企業」にかぎらず、自治会・町会やNPO、社会福祉法人など多様な主体を含めて連携し、良い取組を増やしていきたい。

また、以下のとおり、質疑応答があった。

＜委員＞「企業が利益をあげながら行政とどのようにパートナーシップを結べるか」というところのイメージが湧かない。

→〈事務局（市）〉具体的なところは今後、当委員会で議論していく予定であるが、例えば、市内の企業の持っている場などを活用できないか等は事務局のアイデアとして挙がっている。

〈委員〉多様なはらたき（仮）は就労にかぎらないことと思うが、その理念と企業の連携がむすびつくのか。

→〈事務局（市）〉企業については、規模の大小や法人の種類問わず幅広く捉えており、はたらきについても、社会参加の場や就労までのステップの1つなど幅広く捉え、様々な活躍の場について企業と連携ができるかを検討していきたい。

そのほか、委員より商店街と学生のコラボレーション企画の事例の話や、自信がなくアルバイトができない学生も多くなっているため、活躍の場を増やす取組は必要になるという話があった。

【7. その他】

（1）次回委員会の日程確認

次回の委員会の日程確認と今後のスケジュールについて事務局より説明をした。

- ・次回は、2月18日(水)19:00～21:00（会場 総合福祉センター）
- ・次回の主な議題は「地域福祉アンテナショップ」について
- ・以降は開催ごとに1つずつのテーマで議論を深めていく

（2）その他

社協よりチラシを配布し、イベントの告知をおこなった。

以上。